

要望書

玄海原発でのプルサーマル受け入れ反対を表明されることを要望します。

プルサーマルに反対する県民、市民が多数いるにもかかわらず、これから強引に同意させよう、同意しよう、とする動きが強まると予想されます。8月5日付けの電気新聞では「経産省、MOX燃料装荷時の交付金上乗せを検討 立地支援見直し/炉心にMOX燃料を装荷すると、通常のウラン燃料で燃焼する発電電力量に3倍の発電電力量を加算して交付金が上乗せされているが、この上乗せ額をさらに増額する方向で検討。早期のプルサーマル実現につなげたい考えだ」と報道されています。なんと恥ずかしい政策でしょうか。

プルサーマルは「百害あって一利なし」。1日も早い玄海原発でのプルサーマル受け入れ反対を表明すべきです。貴職の良識ある判断と断固とした行動を期待致します。

様々な団体、個人からプルサーマルの問題点が指摘されていると思います。ここでは唐津市と密接に関わる点についてわずかですが指摘させていただきます。

プルサーマルどころではなく、「原発震災」の発生が心配です。

プルサーマルは制御棒の効きが悪くなるのは電力会社も認めて、対策が必要としています。今年3月20日に発生した福岡県西方沖地震はマグニチュード7.0でした。玄海原発周辺も含めて北九州は大きな地震が少なかったのですが、もう安心してはいられません。

さらに8月16日、女川原発を襲った宮城地震は女川原発の設計用最強地震動の250ガルを超えたことが判明しました。想定が間違っていたのです。玄海原発を想定以上の大きな地震が襲う可能性は否定できないと思います。玄海原発は設計用最強地震動をなんと188ガルと低く想定して設計していますが、これは全国の原発でも最低レベルです。老朽化も進んでいます。玄海原発の耐震性の検討を早急に始めるべきです。

労働者の被曝が増える可能性があるプルサーマル

プルサーマル用のMOX燃料は、1999年と2001年に搬入され、プールに沈める時の映像がテレビなどで報道されました。そのとき、なんと作業員は手袋はしていたものの、直接燃料に触れていました。経済産業省原子力・安全保安院の佐々木元委員長は「機械など、あるいは離れて管理するといった…」と直接触れないようにと言っていました。実際には守られていないのです。唐津市からも多くの労働者が玄海原発で働いていると思います。大変心配です。

将来玄海町が唐津市と合併すれば使用済みMOX燃料も玄海町から引き継ぐこととなります。

使用済みのMOX燃料は当面原発内の使用済みプールで保管することになっていますが、当面とは何年なのか。また、発熱量が高く、使用済みウラン燃料と同等のレベルに下がるのに約500年かかると評価されています。そのため電力会社も政府もまったく発表す

ることができません。近い将来、玄海町が唐津市と合併する可能性もありますが、そうになると、老朽化が進み、廃炉を迎える玄海原発とともに、使用済み MOX という大変なお荷物を抱えることになるのです。

唐津市が国際紛争に巻き込まれる可能性が十分あります。

MOX 燃料はフランスまたはイギリスから、武装護衛艦とともに対馬海峡に入って玄海原発に到着するコースです。この輸送に対して、韓国の多くの市民が反対行動を取るの
は確実と思われます。韓国政府も強く反発する可能性が高く、さらに再処理そしてプルトニウムの抽出で揺れる北朝鮮を激しく刺激するでしょう。

唐津市民の同意は絶対条件であり、現状を考えれば新潟県、柏崎市、刈羽村、福島県のようにプルサーマルを拒否するのは当然です。

唐津市にも原爆被爆手帳を持った人が多数いらっしゃいます。政府も電力会社も以前は、大事故は絶対起こらないと言っていましたが、事故と不正続きで、もう起こらないとは言いません。プルサーマル運転でも絶対に大事故は起こらないとは言いません。それでいいのでしょうか。玄海原発では約 220 発分の核分裂性プルトニウム(全プルトニウムだと約 2000kg) が装荷されるのです。

唐津市は、玄海町をコの字型に取り囲む形になっています(このような形は全国原発立地地域では女川原発が立地する女川町を取り囲む石巻市だけです。4 月 1 日合併したため)。原発で大事故があれば、放射能は確実に唐津市を襲います。しかも、オフサイトセンターは唐津市庁舎の近くです。唐津市の同意は絶対条件です。

また唐津市として合併する前に、玄海町のすぐ北の鎮西町とすぐ南の肥前町がプルサーマル反対決議を全会一致で上げています。合併したからといって住民が賛成になったわけではないでしょう。隣接自治体が反対決議を上げるのは全国的にも前代未聞のことであり、絶対反対の強い意志がなければあり得ないことです。唐津市民の中でも、事故が発生した場合に最も被害を受ける可能性が高い地域の住民の意志を尊重するのは当然です。また、プルサーマルに反対する署名も30万人分を超える数が県に提出されていますが、唐津市民が多数含まれているのは当然です。

古川知事は、6月定例県議会で「唐津市の同意は不要」と発言し、これに対し、貴職と唐津市議会は市の意向を尊重するよう要請されました。今後もこの姿勢を貫くと同時に、多くの市民のプルサーマル反対の意向を尊重していただくよう、要望します。

2005年8月29日

< 申し入れ 14 団体 >

脱原発ネットワーク・九州 / 佐賀県平和運動センター / からつ環境ネットワーク / グリーンコープ生協さが / 美浜・大飯・高浜に反対する大阪の会 / みどりと反プルサーマル新潟県連絡会 / 脱原発福島ネットワーク / 福島老朽原発を考える会 / ストップ・ザ・もんじゅ東京 / プルサーマル公開討論会を実現する会 / 東京電力と共に脱原発をめざす会 / 原水爆禁止日本国民会議 / グリーンピース・ジャパン / 原子力資料情報室

問合せ からつ環境ネットワーク 代表 三浦正之

0955 - 74 - 3588